

東京ベイエリアビジョン（仮称）庁内検討委員会ワーキンググループ（第5回）
（令和元年11月13日）

議事概要

1) 「長期戦略」と「東京ベイエリアビジョン」（仮称）の策定について【資料1】

「長期戦略」と「東京ベイエリアビジョン」（仮称）の取組について（当面のスケジュール）
【資料2】について説明しました。

（説明概要）

- 長期戦略と東京ベイエリアビジョン（仮称）の関係性について説明する。
- 東京ベイエリアビジョン（仮称）は都市づくりのグランドデザインを踏まえて、既往の臨海副都心等の計画を更に次のステージに進めるという位置づけとしており、官民連携チームからの提案も踏まえながら検討を重ねてきた。
- 長期戦略は、ソフト・ハード両面から東京の長期的な計画を示すものとして検討が進められており、今年8月には「未来の東京」への論点が発表されたところである。「未来の東京」への論点では、東京ベイエリアビジョン（仮称）と同様に2040年代を想定した東京の未来像が描かれており、その実現のために2030年に向けた検討課題が提示されている。その中でベイエリアについては、「新たな形を生み出し、未来を創造する。」となっており、東京ベイエリアビジョン（仮称）の検討の方向性と軌を一にしている。
- 東京ベイエリアビジョン（仮称）は長期戦略と調整を図りながら策定を進め、最終的な取りまとめ時期は来年頃を検討している。今年12月末を目途に長期戦略ビジョンで最終的な取りまとめに向けて目指すべき東京の姿や将来に向けた目標と取り組むべき政策の柱などが示される予定であるので、当面はこれに向けてベイエリアの将来像、主な施策を反映することを目指していく。
- 庁内検討委員会等で適宜検討を重ねながら、最終的には2020大会のレガシーを反映してベイエリアビジョンの策定を進める。

2) 意見交換

- 区との調整などはどの程度進められているのか教えてほしい。
⇒ビジョン策定スケジュールなどについて各区と共有している。
- 住宅などで5G住宅などを考えている。臨海部には都営住宅やタワーマンションもあって、これから高齢化も進む。そのような、共同住宅をはじめとした住宅に対して、見守りなど5Gを活用した取組ができればよいと考えている。高齢者が安心して住むことのできるまちづくりを進めていきたい。
- 5Gなどの施策などが新たに出てきている。ベイエリアに適用できそうな施策があれば情報提供をお願いしたい。
- 先端技術の実証実験を各局で実施することになっているが、戦略政策情報推進本部などとも連携して進めていきたい。
- 2050年を目標としたゼロエミッションを検討しており、今後、ベイエリアのまちづくりとも連携していきたい。